

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交通一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)）をクリックか右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



2026年2月7日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2026年春闘 No.6

2025年度推進ニュース⑬通算404

発行責任者 小島 茂

神奈川交運共闘会議第31回総会開催

2026年春闘勝利・交通運輸の現状打開で将来展望を切り開こう！



神奈川交運共闘会議は6日、横浜港大さん橋入口の波止場会館で第31回総会を開催しました。参加者は14名で、建交労からは神奈川県本部の高橋書記長（交運共闘副議長）、神奈川県南支部小島委員長、金崎書記長（交運共闘幹事）、赤羽特別執行委員の4名が参加しました。

総会は石井副議長（横浜港湾労協事務局長＝**左の写真左側**）が開会挨拶をおこない、引き続き議長として総会の議事を進行しました。



主催者を代表して挨拶を行った富松議長（自交総連神奈川地本委員長＝**上の写真右側**）は「賃上げが物価高騰に追いつかず国民生活が悪化している。2026年春闘で交通運輸労働者の大幅賃上げを勝ちとろう」と呼びかけました。

続いて戸倉事務局長（港湾労働組合書記長）が2025年度の経過報告・会計報告、2026年度の運動方針・予算案を提案しました。討論では高橋副議長（建交労神奈川県本部書記長＝**中段**



の写真）が「4月から施行されるトラック新法によって合法である白ナンバーのダンプ労働者が建設現場から不当に排除される可能性がある」と報告しオンライン署名なども活用して状況を打開する運動を展開する」と訴えました。

総会は新年度の役員体制を含めて提案されたすべての議案が満場の拍手で採択され、高橋副議長の閉会挨拶、富松議長の発声による団結ガンバロー三唱で成功裏に閉会しました。

なお、建交労の高橋県本部書記長は副議長、神奈川県南支部の金崎書記長は幹事に再任されました。

※現時点の神奈川交通運輸労働組合共闘会議は、自交総連神奈川地本、建交労神奈川県本部、港湾労働組合、検数労連（横浜）、京浜港運海貨労協、横浜港湾労協で構成しています。

総選挙最終盤の攻防戦「戦争・改憲は絶対ダメ」の審判を！

総選挙は、明日の投票日を除けば今日1日の攻防戦となります。総選挙の最終盤に入って、高市首相をはじめ憲法9条の改定・削除など「戦争する国づくり」を公然と唱える政党・候補者が増えています。建交労は「世界の宝：憲法9条を守り活かす運動を展開」しています。それは「戦争は絶対にダメ！」という基本的な立場を譲らないからです。この総選挙でも最後までこの立場を貫きましょう。